



2月  
20日

## 町の史跡歴史を歩いて学ぶ！



神戸町観光ボランティアガイドの会による“中山道ウォーキング”が開催され、町内外から30名が参加しました。

参加者は藻葛神社(柳瀬)や一里塚跡(柳瀬)、小簾紅園(瑞穂市)など約5キロの道のりを散策。各スポットではガイドや地元自治会長などから説明があり参加者は熱心に耳を傾けました。

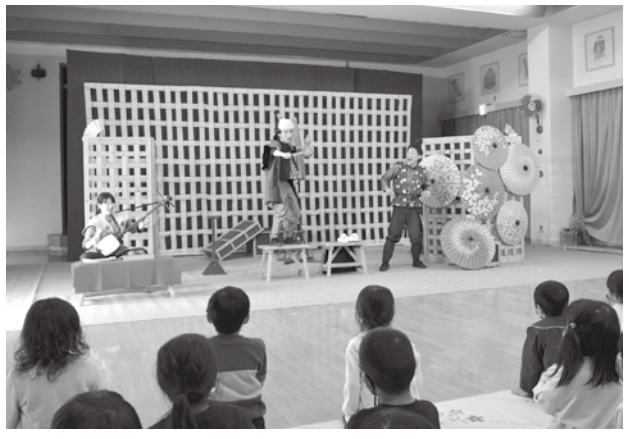
参加者は「町内にずっと住んでいたが、知らない場所や歴史ばかりであった。町の歴史に興味を持てる良い機会にもなった」と話されました。

## 昔のあそびで心を通わす 演劇「ぱらりっとせ」

人権啓発事業の一環として、「劇団風の子中部」の公演「ぱらりっとせ」が下宮、南平野、北幼稚園と下宮小学校で開催されました。

ぱらりっとせでは、ところどころに出てくる岐阜の方言になごみながら、お手玉や、縄跳び、竹馬、岐阜の和傘による傘回しなどの遊びや、芝居を観て、子どもたちは目を輝かせていました。

人権擁護委員の今津礼子さんは「岐阜の良さを伝え、ふるさとを好きになることで自己肯定や人を思いやる心を育ててほしい。また昔の遊びを通して心通わせることを学んでほしい」と話されました。



3月  
15日

## 神戸山王まつりを学ぶ！



町文化遺産活用推進事業の一環として、神戸中学校で「神戸山王まつり」について学ぶ講演会を開催しました。

今回は、新型コロナ対策として、講師である神戸山王まつり活性化委員会の山田一夫さん(下新町)が校内放送を使用して2年生の生徒に、まつりの神事や松明の作り方、7社ある神輿の特徴など、実際の祭りの映像を流しながら説明しました。

生徒は「幼いころから知っていた山王まつりの仕組みを初めて知る良い機会になった」と話してくれました。